

性質別歳出

**扶助費 (18.5%)**  
24億9723万円  
高齢者、障がい者、児童への援助などに

**人件費 (16.1%)**  
21億6859万円  
職員の給与、議員報酬などに

**物件費 (16.0%)**  
21億6555万円  
委託料、光熱水費、事務用品などの消費的な支出に

**補助費等 (15.3%)**  
20億6703万円  
一部事務組合への負担金や各種団体補助特別定額給付金などに

**公債費 (11.2%)**  
15億1343万円  
町債の返済などに

**普通建設事業費 (11.0%)**  
14億8105万円  
道路や施設の建設などに

**繰出金 (9.2%)**  
12億4143万円  
他会計への支出に

**積立金など (2.7%)**  
3億6980万円

**一般会計歳出合計**  
135億412万円

令和4年度会計別決算

※金額は項目・区分ごとに四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

一般会計・特別会計

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	144億3218万円	135億412万円	9億2806万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	39億3880万円	35億414万円	4億3466万円
	後期高齢者医療特別会計	6億1291万円	6億37万円	1254万円
	介護保険特別会計	32億8124万円	29億6062万円	3億2062万円
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	1505万円	1354万円	151万円

企業会計 (▲はマイナスを表す)

会計名	収入額	支出額	差引額	
下水道事業会計	収益的収入及び支出	10億1817万円	10億1000万円	817万円
	資本的収入及び支出	6億1784万円	9億1161万円	▲2億9377万円

収益的収入及び支出：経営活動に伴って生じる収支  
資本的収入及び支出：施設の整備などに関する収支

一般会計

一般会計は黒字

一般会計は、歳入歳出差引額が9億2806万円となり、翌年度に繰り越すべき財源1659万円を除くと、実質的な黒字は9億1147万円となりました。そのうち前年度からの実質的な黒字が7億9745万円あるため、令和4年度単年度での黒字は1億1402万円となりました。

前年度に引き続き黒字決算を計上出来てはおりますが、公共施設の老朽化対策などの大型事業が今後控えており、財政運営は今後も一層厳しさを増すことが予想されます。

特別会計

4つの会計決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、4つの特別会計の決算額は上表のとおりです。

企業会計

下水道事業は黒字

独立採算で運営を行う公営企業に下水道事業があります。決算額は上表のとおりです。

下水道事業では、収益的収支は損益計算による当年度純利益が1129万円生じ黒字決算となりました。なお、資本的収支は2億9377万円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金などで補填しました。



# 令和4年度 決算

令和4年度の決算が、町議会第3回定例会で認定されました。

皆さんに納めていただいた大切な税金などが住みよいまちづくりにもどのように使われたのか、その概要を紹介いたします。

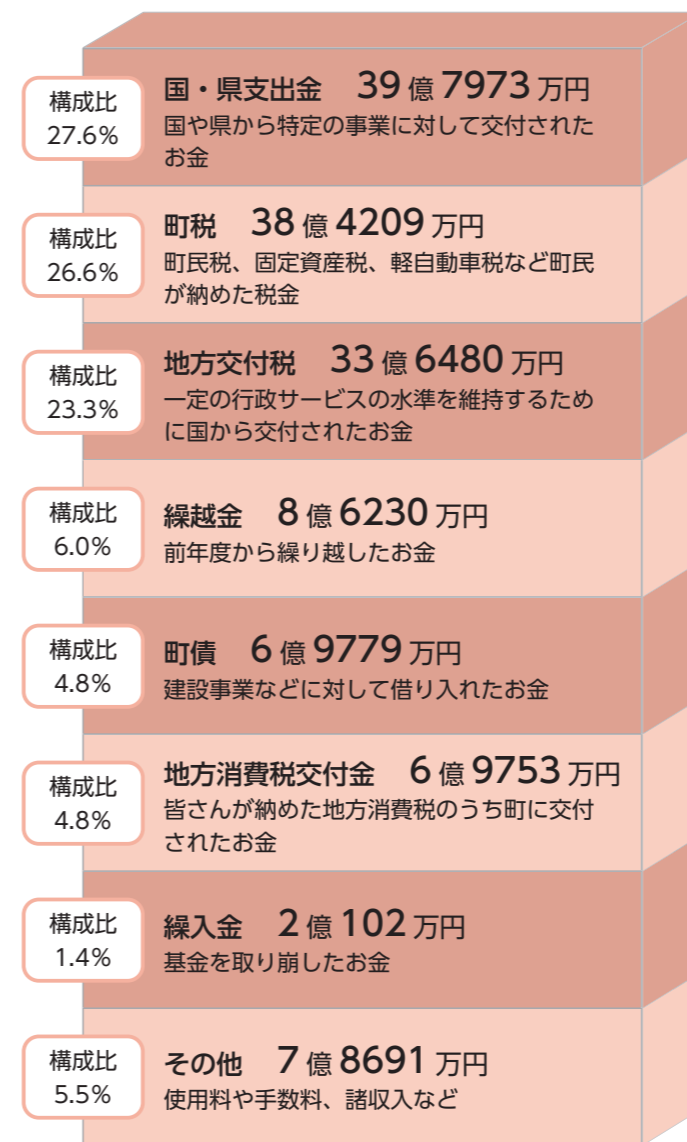
☎ 企画財政課財政係 ☎ 34-2072

## 単年度収支は1億1402万円の黒字

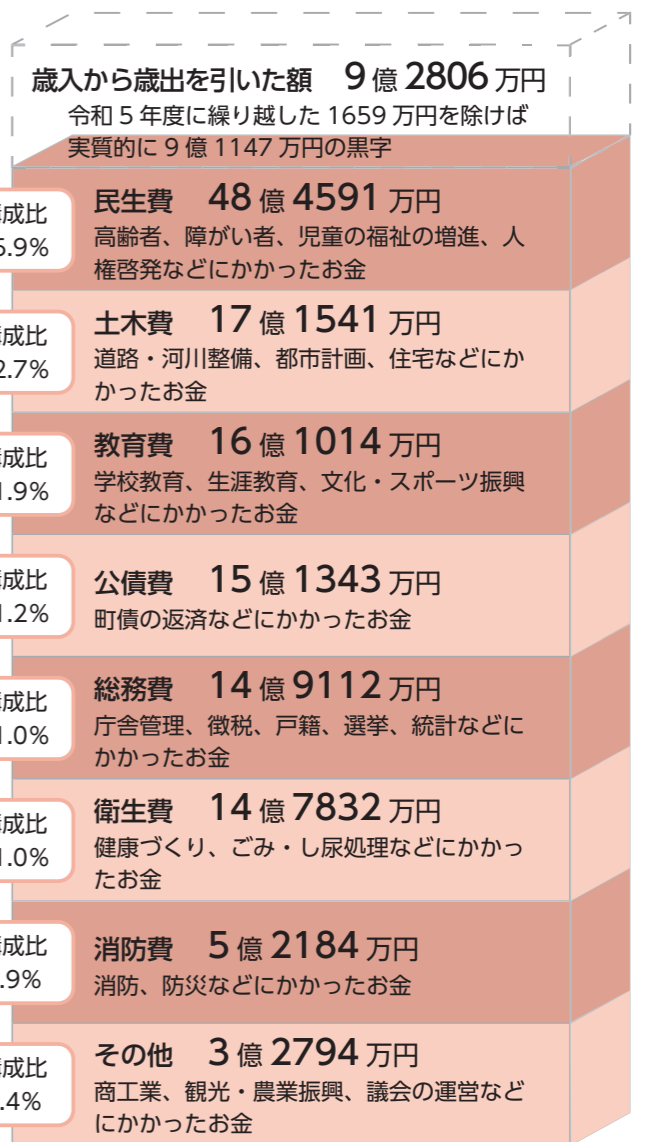
## 町の財政は今後一層厳しくなる見込み

「町の財政は黒字だから安心だ」と思われるかもしれませんが、町の課題解決のために借り入れた町債の償還や社会保障費等の増加により、財政の余裕が少なくなっています。それに加えて、少子高齢化や人口減少により、町税の大幅な増加は見込めない状況の中、高齢福祉や障がい福祉に伴う費用の増大、学校施設の再配置、公共施設の老朽化対策に伴う費用の発生等により支出は増加し、町の財政は今後一層厳しくなる見込みです。

### 一般会計歳入 144億3218万円



### 一般会計歳出 135億412万円



歳入から歳出を引いた額 9億2806万円  
令和5年度に繰り越した1659万円を除けば実質的に9億1147万円の黒字

※金額は項目・区分ごとに四捨五入していますので合計が一致しない場合があります。

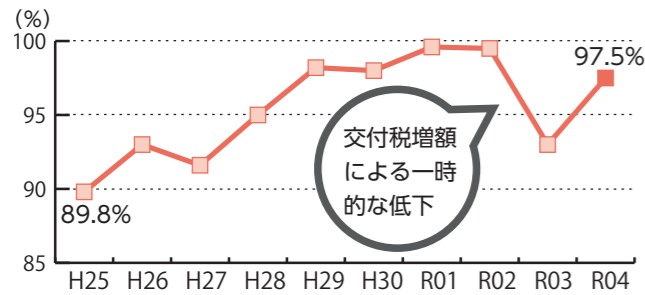
# 指標でみる財政状況

過去に借り入れた町債の償還や社会保障費等の増加により、財政の余裕が少なくなり厳しい状況です。

## 経常収支比率 97.5%

財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。令和3年度は一時的な国からの交付税の増加がありましたが、令和4年度は令和3年度に比べ4.5ポイント上昇しました。

※経常収支比率は、高くなればなるほど財政が硬直化します。



## 健全化判断比率

町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標です。いずれの指標も国の基準を下回りましたが、実質公債費比率は上昇し、引き続き財政健全化に取り組んでいきます。

指標	田原本町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.85%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.85%	30.00%
実質公債費比率	11.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	37.9%	350.0%	

※赤字額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は「—」表示となります。

### 用語説明

- 実質赤字比率**…標準的な収入に対する普通会計の実質的な赤字の割合
- 連結実質赤字比率**…標準的な収入に対する全会計の実質的な赤字の割合
- 実質公債費比率**…標準的な収入に対して普通会計が負担する実質的な借入金の返済の割合
- 将来負担比率**…標準的な収入に対して普通会計が将来負担すべき負債の割合

## 資金不足比率

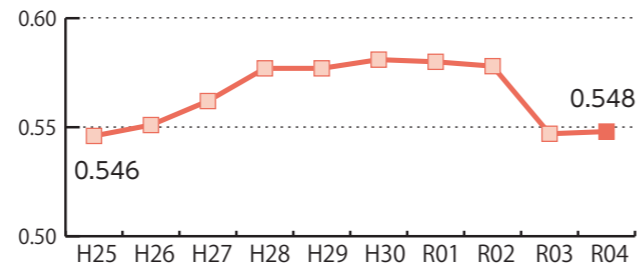
地方公営企業の資金不足額が事業規模に対してどの程度あるかを示すものです。下水道事業会計は資金不足額がないため該当はありませんでした。

会計名	田原本町	経営健全化基準
下水道事業会計	—	20.0%

※経営健全化基準とは、早期健全化基準に相当する基準です。  
※資金の不足額がないため、資金不足比率は「—」表示となります。

## 財政力指数 0.548

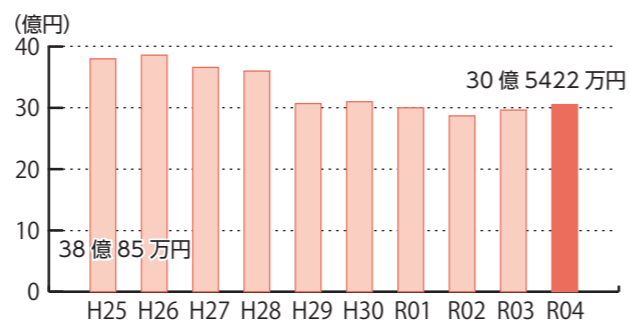
標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。



## 基金残高 30億5422万円

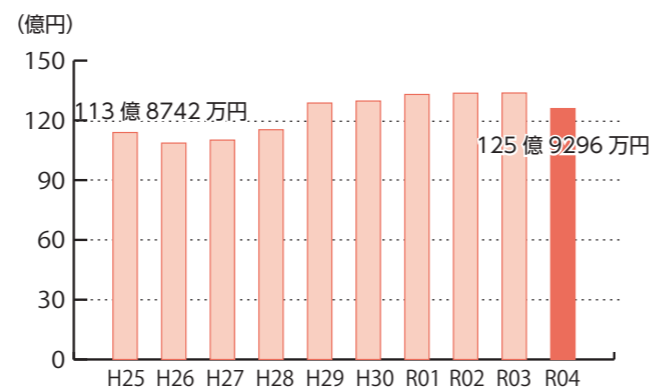
一般会計には、純粋な貯蓄といえる財政調整基金や減債基金、特定目的のためのふるさと応援基金、企業版ふるさと納税基金、森林環境整備促進基金、公共施設等整備基金、福祉基金があります。

令和4年度は、後年の公共施設整備に備え、公共施設等整備基金を1億5000万円積み立てたことなどから、基金全体では前年度に比べ約9021万円増加しました。



## 町債残高 125億9296万円

一般会計の町債残高は平成16年度をピークに毎年減少してきましたが、新清掃工場などの大型事業の実施に伴い平成27年度に増加に転じ、令和4年度についても市街地再開発事業や道路の整備、内水対策などに町債を活用しましたが、借入額よりも償還額が多かったため、前年度に比べ約7億8151万円減少しました。



～子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと～ の実現に向けて

# 令和4年度実施事業紹介

厳しい財政状況の中、国や県からの補助金を得られる事業を優先して実施しました。

## 1 子育ての願いをかなえるまちづくり

- 小学校の教育の充実に**…2億3438万円
- 中学校の教育の充実に**…1億4904万円
- 学校給食の充実に**…2億6946万円

学習環境の整備、学校施設の維持管理をはじめ、サポートが必要な児童・生徒への支援員の配置、学校給食の提供などを継続して行い、教育の充実に努めました。また、令和4年度は、施設整備の基本方針や施設配置計画の検討を行い「田原本町小学校3校統合施設基本構想」の策定、小中学校のインターネットの更新、小中学校外壁落下防止ネットの設置などを行いました。

- 幼稚園の教育の充実に**…3億4418万円

園児が楽しくいきいきと過ごせる環境づくり、施設の維持管理、預かり保育など、幼稚園や認定こども園の運営を行いました。

## 2 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり

- たわらもとヘルスケアプロジェクト事業**…5715万円

高齢になっても地域で健康で幸せに暮らせる社会を実現するために、歩数によってポイントが付与され、貯まったポイントを地域商品券に交換できる「健幸ポイント事業」とICTを活用した筋力トレーニングを主とした「健幸運動教室事業」を実施しました。

健幸ポイント事業の参加者が前年度に比べ約1.5倍増加しました(1200人→1830人)。

- 地域支援事業(高齢者施策)**…1億3917万円

高齢者が要介護・要支援になることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも可能な限り地域で自立した日常生活を送れるよう、地域の支え合い体制づくりや要支援者などに対する支援を行いました。

## 3 潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり

- 社会教育の充実に**…2億7645万円

生涯学習の推進や青少年健全育成、文化財の保存・活用、バーチャルミュージアムの構築、図書館運営、施設の維持管理などを行いました。

- スポーツの振興に**…3773万円

スポーツ教室開催やスポーツ少年団育成支援、体育施設管理、スケートボードパーク運営などを行いました。

## 4 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

- 一般下水路事業**…2億9250万円

内水被害を減らすための治水対策として、旧県水資材置場と阪手新池の雨水貯留施設整備工事や寺川東地区の雨水貯留施設整備のための用地買収、田原本中学校周辺地区の解析調査などを行いました。

- 田原本駅周辺市街地整備推進事業**…3億425万円

田原本駅周辺市街地再開発のため、家屋購入や再開発組合に対して補助金の交付を行いました。

- タワラモントクシー利用料金助成事業**…2229万円

移動制約者の利便性の向上のため、一般タクシーの初乗り運賃相当額を助成しました。

## 5 賑わいと活力あふれるまちづくり

- 農業基盤対策事業**…6586万円

農道・水路などの農業基盤施設の強化を行ったほか、土地改良事業に係る補助金を自治会に交付しました。

- 農業の振興に**…3323万円

新規就農者への支援や高収益作物転換支援、本町の推進作物などを生産する農業者に対する補助、農業の多様な担い手の育成・確保を図るための支援などを行いました。

- 観光振興対策事業**…3957万円

観光ステーションの運営などの業務委託や(一社)田原本まちづくり観光振興機構の運営補助、奈良田原本流鏑馬まつり実行委員会への補助などを行いました。

## 6 住民とともに実現するまちづくり

- 自治振興事業**…2808万円

自治会活動の奨励と地域コミュニティ推進のため、活動費や防犯灯設置などの補助金を交付しました。

- ふるさと応援寄附金推進事業**…2255万円

返礼品の拡充を進め、町のPRや地域事業者の販路拡大など、地域産業の活性化に取り組みました。